

合併5周年について

平成18年3月20日に三町が合併し、来る3月20日をもって、三種町が誕生して満5周年を迎えることになりました。

この間、町の将来像である「豊かな自然と大地の恵み、心ふれあう協働のまち」のもとに、町民の皆さまをはじめ関係各位のご協力ご支援をいただきながら着実に成果を上げてきていることに対し、心から感謝いたします。

平成23年度を合併5周年記念という節目の年として位置づけ、記念式典の開催を予定しているほか、町づくりのよりどころとなる町民憲章の制定に取り組みます。

また、各所管において予定されている各種大会及びイベントについては、合併5周年記念の冠を付して開催するほか、記念事業としてのイベント招致なども視野に入れながら全町の盛り上げを図ります。

県立大学との連携協力協定

本協定は、秋田県立大学と三種町がそれぞれ保有する資源や情報、研究成果を有機的に活用し、相互に連携して地域社会の発展や産業振興に寄与することを目的とするもので、年度内に締結をしたいと考えています。

協定を締結することにより、人材育成、政策提言、共同研究などで相互協力が期待できるとともに、まちづくりを進めるうえにおいても大変意義あるものと考えています。

住宅用太陽光発電システム設置費助成事業

近年は、地球温暖化防止や環境にやさしい新たなエネルギーの利用促進が全国各地において取り組まれてきています。町にも現在17基の風力発電機が設置されていますが、再生可能エネルギーや二酸化炭素を排出しない自然エネルギーの利用促進を図るため、町では平成23年度から、自ら居住する住宅に設置する住宅用太陽光発電システムの費用の一部を助成したいと考えています。

情報通信基盤整備について

地域情報計画策定を受け、これに基づき平成24年度までに全町超高速ブロードバンド環境を整えたいと考えています。そのため、情報通信事業者等との連携を図りながら、今年度予算については、過疎対策事業債の活用や特定財源確保に努め、早期に事業実施したいと考えています。

また、地上デジタルテレビ難視聴解消については、デジタル放送化の期限も迫っていますが、上岩川、下岩川地区などケーブルテレビによる解消地区については、4月1日から供用が開始され、鮮明なテレビ画像が受信できるようになります。ただ、受信点が決まっていないなど、まだ難視聴が解消されていない共聴組合や新たな難視聴地区もありますので、引き続き、衛

星放送のセーフティネットを活用しながら、平成23年度内の解消に努めます。

観光交流事業について

観光資源の見直しや農業等との連携によるグリーンツーリズムなど、観光振興のための将来ビジョンづくりを行います。また、交流人口の増加等による地域経済への波及効果をねらい、新たにスポーツ・文化合宿等誘致推進事業を実施するとともに、今年開催して好評だった食のイベントや15周年目のサンドクラフトでは、外国人砂像彫刻家を招聘して実施する予定です。

福祉関係について

少子高齢化の進行とともに、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯並びに障害者の高齢化など、社会的な要支援者数が徐々に増加し、現行の社会福祉制度では対応できない生活課題が増加しています。

このため、より身近な地域で、そこに住む人たちがお互いに思いやり、共に支え合い、助け合うということが必要です。これまでの行政が担った福祉の考え方から、住民もその担い手として参加いただき、住民そして関係団体との協働による「新たな支え合い」の仕組みづくりとしての、すべての人が住み慣れたこの三種町の中で、“あんしん”して生活できる地域福祉の推進に努めます。

健康づくり対策

特定健康診査の受診率は、平成22年度から個別健診方式を導入し事業展開に努めた結果、受診者は前年比で12%増加しており、また事業評価の指標となりますメタボ減少率も実施計画の目標を達成しています。

これは増加する医療費の抑制や生活習慣病等の改善にも繋がりますので、今後も未受診者に対する積極的な受診勧奨に努めます。

死因で上位に位置するがん対策につきましては、国・県の平成23年度予算で、年代を特定した検診の無料化等が予定されているようですが、事業内容が示された時点で周知に努め、これらの事業導入を契機として、町民一人ひとりの継続した自発的な受診に繋がっていきたいと考えています。また、各種検診率や予防接種率の向上へ積極的に取り組みます。

農林業関係について

環太平洋戦略的経済連携協定や自由貿易協定関連についてですが、すでに農業分野においては、関係国との協議が開始されており、国内産業の保護が貿易自由化かなど、各界において熾烈な議論が活発化している状況にあります。

このような中であって、本町農業は地域経済の根幹をなす基幹産業であり、専業農家、兼業農家、大規模農家、中小農家それぞれ農業構造の大改革という荒波の動向によっては正念場を迎え、大きな試練・決断を